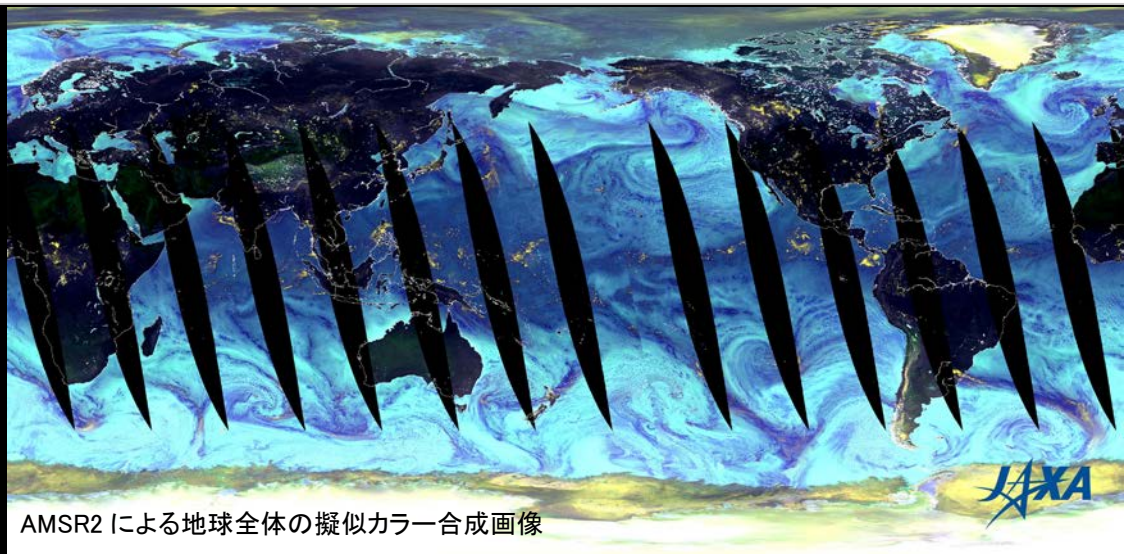


水循環変動観測衛星「しずく」が 地球の水の様子を初観測！

2012年5月18日に種子島宇宙センターから打ち上げられた第一期水循環変動観測衛星「しずく」は、6月29日にA-Train軌道に投入された後、搭載している高性能マイクロ波放射計(AMSR2:アムサー・ツー)で、7月3日から地球の観測を開始し、観測データを初めて地上で取得しました。

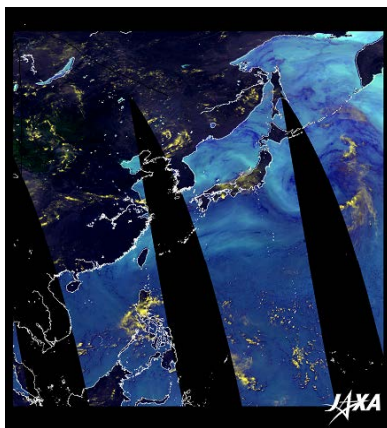
「しずく」は引き続き搭載機器の初期機能確認を行った後、観測データの精度を確認する作業などを実施する予定です。



AMSR2による地球全体の擬似カラー合成画像

日本周辺の水の分布を表した合成画像

「しずく」は7月3日午後1時頃(日本時間)に日本の上空を通過しました。このとき、日本の上空には梅雨前線が停滞し、四国の東側や近畿東海にかけて黄白色の領域が広がっており、広い範囲で強い雨が降っていたことがわかります。



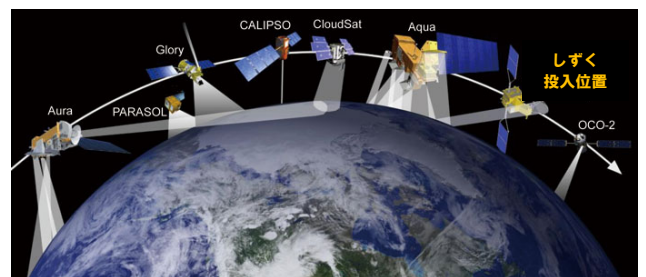
画像の中で、以下のように表しています。

- 黄白色の部分
強く雨が降っている場所や海
- 水色から紺色の色の変化
大気中の水蒸気や雲が増えている
- 黒色の部分
観測されていない領域

「しずく」が投入された「A-train軌道」ってなんだ!?

“A-Train(The Afternoon Constellation)”とは、NASA、CNES(フランス国立宇宙研究センター)と共同で進める複数の地球観測衛星を用いた国際協力プログラムです。

異なるタイプの観測センサーを搭載した複数の衛星が、隊列を組むかのように同じ軌道を飛行することで、同じ場所・同じ時刻での観測が可能になります。日本からは「しずく」が初めて参加します。



「しずく」(GCOM-W1)の最新情報はここから http://www.jaxa.jp/countdown/f21/index_j.html



第一期水循環変動観測衛星「しずく」

Global Change Observation Mission 1st-Water "SHIZUKU"

